

ホームステイ

私がお世話になったご家族は橋本家でした。少々緊張していましたが、皆優しく明るいご家族で、三日間楽しく過ごせました。

お父様は以前から外国人の友達をお持ちで、多様な交流と海外旅行の経験がありました。そのため見識も広く、とても考え深い方でした。「友達やお客が訪ねて来た際楽にいてほしいから、リビングにソファの代わりにたたみとこたつを選んだ。」とおっしゃったことが未だに印象に残っています。お母様は優しくて、色々と気を遣っていただきました。私が興味があると伝えた日本の家庭料理を作ってくださいまして、そのお返しに私が韓国の料理をご馳走できるように台所をお借りしました。お肉を召し上がらないため、プルコギに加え、肉抜きのチャプチェとにらのチヂミを作りました。お子さんたちも明るくて私とすぐに仲良くなり、小学校の運動場でボールを持って遊びました。

様々な活動をしながら、私が知らなかった日本を聞いたり、私が知っている韓国のことを話したりしました。お互いのことや国のことをよく知ることができた、とても楽しくて有益な時間でした。



ホームステイはこれで終わりましたが、交流はまだ続いています。この報告書を作成している本日 12 月 21 日土曜日、橋本家の皆様から食事にお招きいただいて、袋井市のベトナム料理屋に行ってきました。そこでまたベトナムのディンさんとダトーさんと会いました。一回の出会いに過ぎないとお考えになる方もいらっしゃると思います。しかし今回の私のように、プログラム終了後にも関係が続けて、また新たな関係に繋がることもあります。皆さん、言語や文化の差で躊躇わずに、ホームステイプログラムに参加してみてください！